

この『生きがい通信』は、兵庫県生きがい創造協会本部の事業やいなみ野学園・阪神シニアカレッジなどの高齢者大学の諸事業、各施設の情報をお知らせしています。

兵庫県生きがい創造協会は、

“今かがやく、
あなたのライフステージ”

を応援します



ごあいさつ

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会

理事長 林 省吾

4月1日、兵庫県生きがい創造協会理事長に就任しました林です。

どうぞよろしくお願いいたします。

兵庫県生きがい創造協会は、昭和44年に兵庫県が全国に先駆けて開園した高齢者大学「いなみ野学園」が拡張していく中、その運営体制の充実を図るべく、昭和52年に設立された財団法人です。その後、平成23年に公益財団法人に移行し、現在に至っています。

当協会では、「いなみ野学園」や高齢者放送大学「ひょうごラジオカレッジ」をはじめ「阪神シニアカレッジ」「うれしの学園生涯大学（北播磨）」「ゆうゆう学園（西播磨）」「みてやま学園（但馬）」「いざなぎ学園（淡路）」の各高齢者大学、新しい地域リーダーを養成する「ふるさとひょうご創生塾」、さらには生活創造情報プラザや地域活動支援センターの運営などに取り組んでいます。

いま、人生100年時代といわれます。高齢者をはじめ県民一人ひとりが、健康で生きがいを持ち、充実した日々を過ごすため、生涯に渡る学びの継続や、人や地域とのつながりを持つことが必要とされています。

一方、少子高齢化や人口減少が進む中、地域が活力を維持し希望の持てる地域であるためには、高齢者が自らの学びや経験を活かし、その支え手として参画することが期待されています。

兵庫県生きがい創造協会は、県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点として、世代や地域を越えた交流や高齢者の社会参加の支援に積極的に取り組んでまいります。

7 アクティブ・シニアが集う 7つの個性あふれる「学び舎」



播磨富士と称される高御位山

いなみ野学園

いなみ野学園は、総合的・体系的に学べる高齢者大学として、1969年に全国に先駆けて開設されました。2019年の創立50周年を機に、専門講座の時間数、学習内容を充実させ、より専門的、実践的なカリキュラムに改変しました。現在、4年制の高齢者大学及び2年制の大学院を開設し、豊かな自然環境の中で1,300余名の学生が熱心に学習しています。

いなみ野学園をはじめとする県内各地の高齢者大学等では、コロナ禍の中、リモート教室での参加やアクリル板の使用など、様々な感染症対策を講じ、4月以降順次、入学式・開講式を挙行了しました。

そこで、アクティブ・シニアが学ぶ、各地の高齢者大学等を、少し足を延ばせば楽しめる名所とともに紹介します。勉強後の癒しの場にお薦めです。



©DESIGNALIKIE



ラジオ関西

ひょうごラジオカレッジ

「学び続ける人は輝いている」をキャッチフレーズに、ラジオを通じて生涯学習の場を提供しています。現在、2,300名余が学習しており、最高齢は104歳の方です。毎週土曜日、朝7時からの30分間、誰もが知っている著名な講師陣が、様々なテーマであなたに語りかけます。県下の50歳以上の方が「本科生」への入学資格を有していますが、それ以外の地域・年齢の方には「聴講生」の制度もあります。



宝塚大劇場・宝塚バウホール

阪神シニアカレッジ(阪神)

阪神シニアカレッジは、1997年に開学し、これまでに2,900名余の卒業生を輩出しています。園芸、健康、国際理解の3つの4年制学科と、阪神ひと・まち創造講座の2年制講座のほか、学生や卒業生の活動を応援する「地域活動支援センター」があります。2019年4月に新築移転し、各学科では教室での講義にとどまらず、新学舎が有する機能や多種多様な専門機関・団体を有する神戸・阪神地域の地の利を生かし、特色ある授業を展開しています。



鶴野飛行場跡（紫電改レプリカ）



大空を飛翔するコウノトリ

うれしの学園生涯大学(北播磨)

うれしの学園生涯大学は、本年開設50年を迎えます。
兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座として、総合講座・専門講座を開講し、学生の皆さんの仲間づくりや生きがいづくり、また、地域活動を行う実践力を高めることを目的としています。
講座内容は「学びと実践の一本化」をテーマに「生涯大学入学＝地域デビュー」との考え方で、カリキュラムを編成しています。

みてやま学園(但馬)

みてやま学園では、高齢者に総合的・体系的な学習の機会を提供することにより、高齢者の生きがいづくりを支援しています。
自己の健康づくりや、地域づくり活動の実践力を培うなどの生涯学習の機会を提供するとともに、ここでの学びを通して長寿社会を担う地域活動の実践者を養成し、生きがいづくりや社会参加の推進に寄与することを目的とした活動となります。



一面が黄色に染まるひまわり畑



淡路人形浄瑠璃

ゆうゆう学園(西播磨)

ゆうゆう学園では、高齢者が豊かで生きがいのある生活を送り、仲間とともに楽しく地域活動に参加するよう総合的・体系的な学習の場を提供しています。4年制大学講座では、全学生が共通して学習する教養講座に加えて、環境創造・健康福祉・地域創造の3コースに分かれて専門的に学びを深めます。2年制大学院講座では、各自で設定した学習テーマに基づいて探究活動を行い、地域活動実践者としての資質を身につけます。

いざなぎ学園(淡路)

いざなぎ学園は、高齢者の方の生涯学習を支援しています。
大学では、淡路島の歴史や文化、健康福祉、自然環境などについて、講義や実習、体験を通して楽しみながら4年間かけて学びます。
また、大学院では淡路島の魅力や社会参加の活動について、総合的、体系的かつ実践的に2年間かけて学びます。

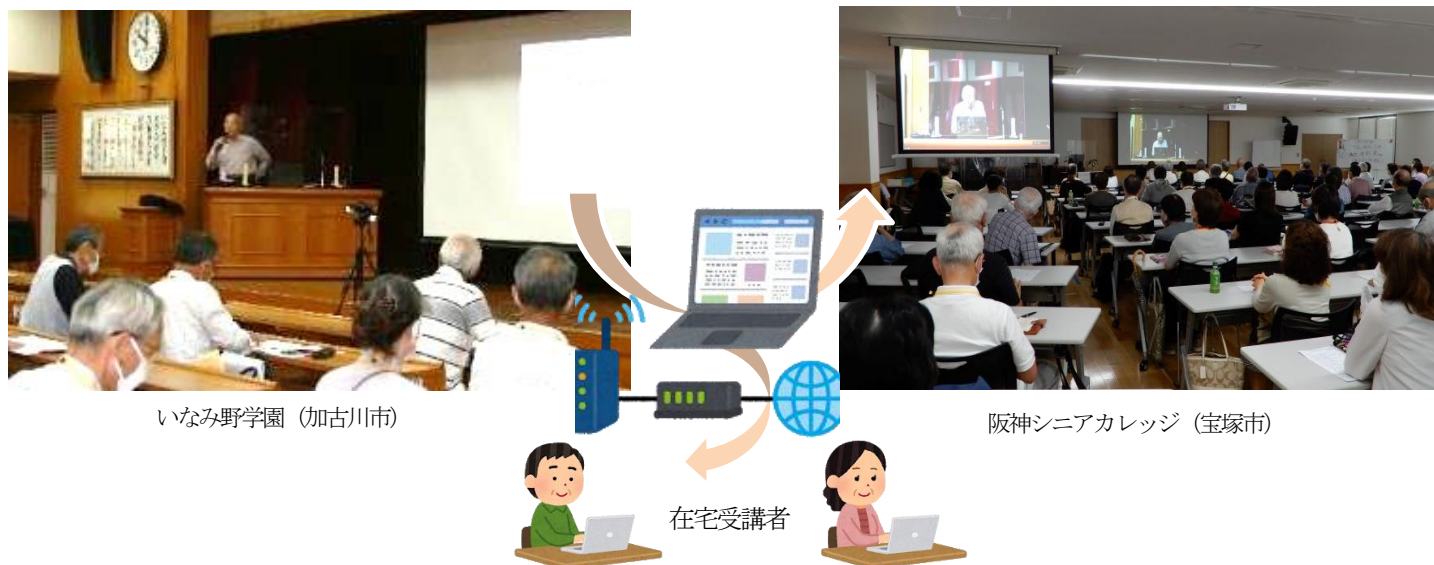
いなみ野学園だより

ICTを活用した新学習環境で講座を実施しています！

いなみ野学園では、新型コロナウイルス感染症対策として、受講者の方々が安心・安全に学習できる新たな学習環境の整備に取り組んできました。令和2年度には、大講堂など大型教室での3密を回避するため、複数教室での分散受講や、ホームページでの動画配信などを実施しました。

学園内の各教室にもインターネット環境が整備され、令和3年度からは、分散受講のほかに、登園に不安を抱える方が安心して受講できるように、オンライン会議システム「Zoom」を利用して、共通講座の自宅受講制度を始めました。大学院講座の授業でもZoomを活用しています。

6月11日には、いなみ野学園と阪神シニアカレッジをインターネットで繋いで合同講義を行うなど、ウィズコロナ、ポストコロナ社会を見据えつつ、「学びを止めない」を目標に、試行的にICTを活用した新しい学習環境で講座を実施しました。



ひょうごラジオカレッジだより

令和3年度「第1回中央スクーリング」を開催しました！



6月4日（金）、いなみ野学園大講堂において、本年度の開講式でもある第1回中央スクーリングを開催しました。

当日は、大雨注意報が発令される中、本科生40名を含む約100名が出席しました。

講演では、落語家の露の團六さんが出囃子とともに登場され、前半は落語「赤穂浪士、神崎与五郎外伝幼少期」を披露。後半は「ダウン症のアニキをもって」と題して、重度のダウン症の兄との半生をお話いただきましたが、厳しい状況にも関わらず、家族と共に生きる姿に大きな拍手が送られました。

その後、ラジオカレッジでの学びについて、感想文の書き方や学習を継続していくコツなどを具体的に説明しました。コロナ禍により人数制限、時間短縮をして実施しましたが、参加者にとって有意義な中央スクーリングとなりました。

2年ぶりに開塾 ～ ふるさとひょうご創生塾第25期生が入塾しました！

昨年度、新型コロナ感染拡大に対する不安もあり応募者が少なかったため、開塾を見送ることとなった「ふるさとひょうご創生塾」ですが、感染防止対策を徹底した上で開塾するとの方針の下、5月22日（土）神戸クリスタルタワー7階にある県立男女共同参画センターで、第25期生の入塾式を開催しました。

これからの2年間、30歳代から70歳代までの、居住地も神戸地域以外に阪神南、北播磨、西播磨、丹波地域と多岐にわたる12人が、相互に多彩な交流を育みます。



まず、入塾式では、小畠寛塾長から、創生塾の開塾経緯や講座の特徴などの紹介があり、「多様な価値観を有する多世代のメンバーが参加する当塾では、まずこれまでの肩書を外してください。そしてお互いを尊重し、意思疎通を図って、信頼関係を築いてください。」との挨拶がありました。

その後、入塾者全員に「ふるさとひょうご創生マイスター」に授与される塾生バッチを、塾生を代表して木村さんに手渡されました。

入塾式に続き、県立人と自然の博物館長の中瀬勲氏により、「創生塾の学びに期待するもの」というテーマで第1回講義がスタートしました。

1時間にわたる講義の中で、「理屈で考えるより、まず現場に出て学ぶことが大切」「『タクティカル』取りあえずやってみるという姿勢が大事」といった学びにあたり大切にすべきことについての話がありました。



ふるさとひょうご創生塾

地域づくり活動の第一線で活躍している方や実践を志す方が、ふるさとづくりの理念や理論、スキルなどを専門的・体系的に学び、地域における課題の発見能力や解決能力を高める場です。現在、620名の卒塾生が「ふるさとひょうご創生マイスター」として、「ふるさと兵庫」の創生を目指して各地で活動しています。徒歩圏内には、神戸の人気の観光スポット、メリケンパーク・ハーバーランドがあります。



(提供：兵庫県広報課)

「社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修」を開催しました！

7月19日（月）、いなみ野学園で「社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修」を2年ぶりに開催することができました。

当日は、川島憲志氏等を講師に招き、日頃から各課・施設の管理職として奮闘されている方々が集い、悩みや課題を共有しながら、「今時の社会教育のあり方を考える上で押さえておきたい事柄！」とのテーマのもと、その手法や考え方を学びました。

中でも、試行錯誤の末に子育て支援イベント『わくわく☆ふえすた！』を今の形に作り上げた「NPO法人みんなでネットワークういっくす播磨」の米津実千代氏の事例紹介では、様々な質問が飛び交い、企画をする上で多くのヒントになりました。

生涯学習部では、今後も「新任社会教育関係職員等の研修」や「スキルアップ研修」を予定しています。



阪神シニアカレッジだより

令和3年度 阪神シニアカレッジ入学式を開催しました！

阪神シニアカレッジでは、4月9日に令和3年度の入学式を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の予防に努めての開催で、大教室と交流ホールで同時配信を使用した入学式となりました。

今年度の入学生は、園芸学科に40名、健康学科に57名、国際理解学科に57名、阪神ひと・まち創造講座に29名で、さらには、新学長に園田学園女子大学名誉教授である田辺真人氏を迎えた新体制でのスタートです。

当日は、井戸兵庫県知事にお越しいただき挨拶と新入生への激励を、また、来賓の方々からも大変温かい祝辞を賜りました。

学生代表歓迎のことばを受けて、入学生代表の挨拶では、学びへの意欲と新しい出会いへの期待を力強く語っていました。



ひょうご冒険教育（HAP）を推進しています！

嬉野台生涯教育センターでは、冒険を通してチャレンジ精神や思いやりの心を育み、こころ豊かでたくましい人間の育成をめざした「ひょうご冒険教育（Hyogo Adventure Project : HAP）」を実施しています。

6月30日から7月2日にわたり当センターで自然学校を行った児童たちが、HAPに挑戦しました。

活動1日目に自己紹介やアイスブレイクの後、児童たちが挑戦したのは、低い位置に設置されたコース「ローエレメント」の「ジャイアントシーソー」「電柱でござる」「モホークウォーク」です。どれも目標を達成するにはグループのメンバー同士のコミュニケーションと協力が必要です。児童たちは声を掛け合いながら協力して挑戦することができました。



活動2日目は、高い位置に設置されたコース「ハイレlement」を行いました。ハイレlementは自分との闘いです。下で支えてくれている仲間を信じて、目標達成に挑戦します。児童たちが挑戦したのは、「パンパープランク」「クライミングタワー」「手つなぎトラバース」です。みんな自身の葛藤を打ち破り、目標に挑戦することができました。クライミングタワーに挑戦した児童の中には、てっぺんまで登りきった子がいました。



児童たちは2泊3日のうち、2日間HAPを体験しましたが、コロナ対策や熱中症対策など気を付けなければいけないことが多い中、HAP参加者の4つの約束である「一生懸命」「公平・公正に」「心も身体も安全に」「楽しむ」ことが出来ました。この活動の中で学んだ仲間を信頼する心や挑戦する姿勢は、今後の学校生活の中でも生きてくるはずです。

「うれしの台チャレンジコース」には今回ご紹介したものの他にも様々なアクティビティやエレメントがあります。学校の校外学習や企業の研修、スポーツ団体の合宿等でご利用の際は、HAPをぜひ体験してみてください。

だんもん

今年も播州段文音頭教室が始まりました！

5月18日（火）、今年度最初の播州段文音頭教室を開催しました。

播州段文音頭とは一遍上人の念仏踊りを起源とし、後に出雲の阿国らが浄瑠璃や歌舞伎を取り入れながら普及させ、口伝や聞き覚えで播州地方に伝承されてきた伝統芸能です。

昨年の播州段文音頭大会（毎年8月末開催）はコロナ禍のためにオンライン収録・配信になりましたが、今年も待ちかねたように地元の愛好家たちが集まりました。

今後は月1回のペースで教室を開き技の継承と裾野の拡大を目指して頑張ります。



【播州段文音頭参考文献】



播州音頭物語全集（\$58.7.1）
後藤利信氏発行
播州郷土民謡研究会発行

播州段文音頭歌詞選集（H26.3.1）
西播磨文化協会連絡協議会・
播州段文音頭大会実行委員会



インターネット寺子屋塾がスタートしました！

インターネットによるワクチン接種予約に苦労した高齢者が多かったように、社会のデジタル格差問題がクローズアップされています。

そこで、西播磨文化会館では、パソコンやスマホで困ったことや知りたいことを学び合い教え合う「インターネット寺子屋塾」を立ち上げました。講師は地域づくりSNSひよこむ主宰で関西学院大学講師の和崎宏さん。

6月9日（水）、2回に分けて開催したキックオフミーティングには11名（第2回は2名増）が参加し、自己紹介に続いて「できること」「やりたいこと」を発表し合うワークショップを行いました。

今後は月2回（第2・第4水曜日）のペースで10月まで開催する予定です。



【今後の予定】

- 8月11日 「Youtube を楽しむための基礎」
 - ・アカウント作成、チャンネル作成、画像アップの手順等
- 8月25日 「画像編集と Youtube 配信のテクニック」
 - ・画像編集例
 - ・各自作成した画像を披露
- 9月以降
 - ・受講者の残る希望テーマについて順次学び合い 教え合い

兵庫教育大学との連携公開講座を開催！

兵庫県生きがい創造協会では、兵庫教育大学等と連携し、平成23年度から毎年、高齢者大学で公開講座を開催しています。ここ西播磨文化会館では平成28年以来の開催になります。

この講座では、18世紀から始まったピアノの歴史をたどり、昔のピアノの音を紹介しつつモーツァルトやショパンの名曲を演奏します。また、20世紀の新しいピアノ奏法にも触れ、ピアノという楽器の面白さを再認識していただけます。

講 師 木下 千代 教授（人間発達教育専攻）
 日 時 令和3年8月31日（火） 13:30～15:30（受付13時）
 場 所 西播磨文化会館 講堂
 〒679-4311 たつの市新宮町宮内458-7
 TEL 0791-75-3663 / FAX 0791-75-0992
 入 場 料 無料
 定 員 100名
 申 込 み 西播磨文化会館まで電話、またはチラシ裏面の申込用紙を郵送・FAX・持参する。



令和3年度 播磨「歴史・地域学」講座を開催！

地元への愛着とふるさと意識の向上を目指して、今年も「山城」をテーマとする連続講座を開催します。

《各回共通》

場 所 西播磨文化会館（講堂）

定 員 100名

日 時	演 題	講 師
10月6日(水) 13:30～15:00	CG 再現で見えてきた西播磨の山城の姿について	本岡 勇一 氏 (城郭研究家)
10月27日(水) 13:30～15:00	長水城と戦国時代の宍粟	堀 寛之 氏 (宍粟市教育委員会)
11月17日(水) 13:30～15:00	播磨の山城 一構造の見方と楽しみ方ー	中井 均 氏 (滋賀県立大学名誉教授)
12月15日(水) 13:30～15:00	赤松氏と白旗城赤松居館跡	島田 拓 氏 (上郡町教育委員会 学芸員)

みてやま学園地域公開講座に笑福亭鶴笑さんがやってきました！

7月16日（金）、朝来市出身で、笑福亭松鶴に入門後のニューヨーク公演を皮切りに、世界35か国・100都市以上で落語やパフォーマンスを披露されるなど、国際派落語家として活躍中の笑福亭鶴笑さんを講師にお迎えし、「人を傷つけない本当の笑い」をテーマに、地域公開講座を開催しました。

テレビでは人を傷つけて笑いを取るような場面があるが、それらは全て台本があってやっていること。人を傷つけない笑いこそが本当の笑いと言われる鶴笑さん。

切り絵では、5本の指に入る腕前と自慢してから、「難しすぎて5人ぐらいしかやるものがないんですよ～」と笑いを取りながら、見事な切り絵を披露されました。

また鶴笑さん十八番のパペット落語は、両脚に付けた人形を器用に動かして妖怪との戦闘、一人で動かし続けているとは思えない熱演で、満席の会場は終始爆笑に包まれました。



第54回 文教府夏期大学

確かで豊かな生き方を探るため、斯界の第一人者を招き、第54回文教府夏期大学を開催します。

今回は、「年収300万円時代を生き抜く経済学」の著書やミニカーやフィギュアなどの収集で“オタク”とも評される獨協大学教授・経済アナリストの森永卓郎氏、西宮市出身で、伊達公子氏と並んで日本女子テニス界の黄金時代を築いたテニス解説者・元プロテニスプレイヤーの沢松奈生子氏を講師に招きます。

なお、昭和43年の第1回夏期大学から半世紀余りの長きにわたり141名の講師を招聘して開催してまいりました本事業ですが、今回をもちまして最後の講座となります。

県民の皆様の参加をお待ちしています。

日時 令和3年8月21日（土）12:30～16:10

場所 豊岡市民会館文化ホール

演題・講師

①「どうなる 私たちの暮らし」

森永 卓郎 氏（獨協大学教授、経済アナリスト）

②「ウィンブルドンの風に誘われて ～世界への挑戦」

沢松 奈生子 氏（テニス解説者、元プロテニスプレイヤー）

定員 1,000名

参加費 前売2,000円（当日2,200円）

販売先 但馬文教府、但馬内各市町教育委員会、但馬内各公民館 等



美術展示を32回開催します！

淡路文化会館では、通年にわたり、美術展示室及び県民ギャラリーで美術展示を開催していますが、毎回多くの方にご覧いただくとともに、地元マスコミにも取り上げていただいております。

今年度は、緊急事態宣言による休館（4月25日～5月11日）のため、当初の予定を見直し、32回開催する予定です。

これまでに、淡路島の海岸に沈む夕日や満月を背にした洲本城跡など、淡路島で撮影した写真が並んだ「いいとこすもとフォトコンテスト応募作品展」をはじめ、地元で見かける身近な野鳥の愛らしい姿を柔らかなタッチで描いた「畠田 哲郎作品展」、木材を使った船舶模型の力作11点が並ぶ「井村澄 脳トレ船舶模型展」などを開催しました。

また、美術展示の開催にあたっては、美術展示ボランティアの方（9名）にご協力をいただき、展示に関する提案や設営作業のお手伝いなどをお願いしています。

是非、お近くにお寄りの際は、淡路文化会館の美術展示をご覧いただければと思います。



美術展示室（「畠田哲郎 作品展」）



県民ギャラリー（「井村澄展 脳トレ船舶模型展」）

【今後の予定】

会期	名称	内容	会場
8月1日(日)～8月10日(火) 午前9時から午後5時まで (最終日は午後4時まで)	山本喜一写真展	「SL冬の湿原号」の写真を 展示	美術展示室
8月18日(水)～8月25日(水) 午前9時から午後5時まで (最終日は午後3時まで)	さとりととうりの 二人展	書セラピーと書の楽しみ方、 子育ての楽しみ方を提案	美術展示室・ 県民ギャラリー
8月28日(土)～9月8日(水) 午前9時から午後5時まで (最終日は午後4時まで)	全日本写真連盟淡路 支部会員展	日頃の生活の中や撮影会で 撮った写真を、全紙パネル 張りに仕上げた作品を展示	美術展示室



令和3年8月発行

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会

〒675-0188

加古川市平岡町新在家 902-3

TEL:079-424-3380 FAX:079-424-3475

いなみ野学園 079-424-3342

ひょうごラジオカレッジ 079-424-3343

ふるさとひょうご創生塾 078-360-9015

阪神シニアカレッジ 0797-26-8001

嬉野台生涯教育センター 0795-44-0711

但馬文教府 0796-22-4407

西播磨文化会館 0791-75-3663

淡路文化会館 0799-85-1391